

令和7年度

「運営に関する計画」

大阪市立淀川小学校

令和7年4月

大阪市立 淀川小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○学力に関して

昨年度は、研究部を中心として「自ら学び合う子どもの育成 ～基礎的学力の定着を目指して～」を研究テーマに算数科の向上を目指す取り組みを進めてきた。しかし、大阪市学力経年調査の結果は向上が見られず、大きな課題として改めて認識することとなった。解決に向けた取り組みの充実を図る必要がある。

○生活指導において

昨年度、学校教育目標を「子どもたちの笑顔のために 新たな教育の創造を！」とし、自己肯定感の増進につながる教育活動を実践することや、進んであいさつができるよう、登校時の指導やあいさつデー、強調週間等の取り組みを続けてきた。教職員の創意工夫ある活動を作り出し、さらに向上させたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。

○令和7年度の校内調査における「将来の夢や目標を持っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

○令和7年度小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。

○令和7年度の小学校学力経年調査における「毎日、同じくらいの時刻にねて、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○デジタル教材を活用した学習を毎日実施する。

○令和7年度の定時退勤日を月に3回以上設定・実施する

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があっても、いけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「毎日、同じくらいの時刻にねて、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。
- 定時退勤日を月に3回（6、9、10、2月については4回）設定・実施する。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立 淀川小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があっても、いけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>(R6目標 85% 経年調査結果 4年 84.6、5年 83.1、6年 81.1)</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>(R6目標 85% 経年調査結果 4年 96.3、5年 82.5、6年 95.4)</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>(R6目標 85% 経年調査結果 4年 96.3、5年 75.0、6年 79.1)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめに対する認識を高め、より良い人間関係を作っていこうとする児童を育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・いじめに関する内容を取り扱う学習内容に、学期に1回以上取り組み、児童一人一人のいじめに対する認識を高めていく。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>学習規律や学校のきまりを守らせることにより規範意識を養う(学習規律や忘れ物を含む)。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・「忘れ物チェック週間」や「正しいろう下歩行週間」の取り組みを学期に1回実施し、児童の実態把握に努めるとともにきまりを守ろうとする態度を養う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>道徳や人権に関係する授業など様々な活動を通して、子どもたちが自分や友達のいいところを見つけられるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・いいところみつけの活動に年2回取り組み、子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高めていく。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①	
②	
次年度への改善点	
①	

大阪市内 淀川小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標					達成 状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】					
○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント向上させる。					
(R 6 経年調査結果 算数の平均正答率の対全国比)					
算数	3 年	4 年	5 年	6 年	
R 5	—	8 7	1 0 1	8 7	
R 6	8 3	9 2	9 0	7 7	
増減	—	+ 5	— 1 1	— 1 0	
○小学校学力経年調査における、「毎日、同じくらいの時刻にねて、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 8 2 % 以上にする。					
(R 6 目標 80% 経年調査結果 4 年 79.6、5 年 80.0、6 年 76.8)					

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>児童の興味・関心や理解が深まる学習展開や、教材教具の工夫、ICT の活用、習熟度別指導、少人数指導、高学年の教科担任制の充実など、きめ細かい指導を行い、基礎学力の定着を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内調査において、「算数の学習が分かる」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を 8 5 % 以上にする。 	
<p>取組内容②【5 健やかな体の育成】</p> <p>「早寝、早起き、朝ごはん、姿勢」の習慣化や、児童が健康な生活を送ろうとする意識を育てるために環境づくりを行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内調査において、「早寝、早起きをきちんとしていますか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を 8 2 % 以上にする。 ・学期に 1 回、学年だより等で、「早寝、早起き」ができるように啓発する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①	
②	
次年度への改善点	
①	
②	

(様式2)

大阪市立 淀川小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。 (ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く) (R6目標50% 市教委事務局による調査結果 年度平均61.5%)</p> <p>○定時退勤日を月に3回(6、9、10、2月については4回)設定・実施する。 (R6結果 「毎月3回設定・実施」100%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>ICT機器やデジタルコンテンツを日常的に活用し、ICTスキルの向上に取り組む。</p> <p>指標</p> <p>・校内調査において、「心の天気を週に4日以上つけた」と回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教員が児童の前で生き生きと働けるよう、健康を保持する取り組みを行う。</p> <p>指標</p> <p>・定時退勤日を「全員による会合を実施しない日」かつ「午後6時までに退勤する日」として、月に3回(6、9、10、2月については4回)実施する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
①
②
次年度への改善点
①
②